学校法人昭徳学園　九州動物学院　３つのポリシー

本学院の教育理念、教育目標を実現するために、次の３つのポリシーを定める。

Ⅰアドミッションポリシー（Admission Policy 入学者受け入れ方針）

本学の基本理念、教育目標、ディプローマ及びカリキュラムポリシーの目的達成のために以下の入学者を求める。

1　動物を愛し、その生命を尊重できる者
2　動物の保健、医療、福祉分野で活躍するために必要な知識と技術を主体的に学ぶ意欲のある者
3　動物医療者あるいは動物管理者としての使命感と倫理観をそなえ、社会に貢献したい意志のある者
4　チーム医療を担える協調性をもち、動物と飼い主に対しおもいやりをもち、信頼関係を構築できるコミュニケーション能力をもつ者
5　本学のカリキュラムを理解し積極的に挑戦し、困難に立ちむかい、問題を解決する自己能力の向上に努める意欲のある者

Ⅱカリキュラムポリシー（Curriculum Policy 教育編成・実施の方針）

学院の基本理念である生命を尊重し、動物と人間社会に真の絆をきづき、動物の保健、衛生、福祉の分野に貢献することを目標に基礎動物学、基礎動物看護学、臨床動物看護学、愛護・適正飼養学、実習分野の科目を体系的に授業展開し、ディプローマポリシーの達成をはかる。

1　動物看護学と管理学を基礎的体系的に理解し、動物看護と管理の学びを深めてゆく。
2　動物看護と管理の実践で基本的な能力を身につけ、専門職としての基盤である対動物、対人支援能力を育む。
3　実習を通じ幅広い看護観と管理観を養い、段階的反復的な実習で実践力を養成する。
4　動物看護と管理の役割を理解し、連携、協働する教育を課外活動と科目に連動させて編成している。
5

Ⅲディプローマ・ポリシー（Diploma Policy 卒業認定および専門士の授与に関する方針）

本学院は基本理念、教育目標に定める人材を養成するため所定の期間在学し、定められた専門分野に関する知識、技能、教養力を身につけ、所定の単位を習得する。学院の定める試験に合格し、動物の保健、医療、福祉の向上に寄与することができる学生に卒業を認定する。